記者発表資料

平成30年6月13日
国　土　交　通　省
三 陸 国 道 事 務 所

【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】

川井地区でトンネル安全祈願祭を開催

～　6月20日（水）に川井地区トンネル工事の安全祈願祭を開催　～

宮古箱石道路（復興支援道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして、平成32年度の開通を目指して事業を進めているところです。

このたび、宮古箱石道路の川井地区でトンネル工事「川井第１トンネル（仮）（延長1,764m）、川井第２トンネル（仮）（延長1,782m）」に本格着手することとなりました。

つきましては、被災地の一日も早い復興と工事の安全を祈念して、安全祈願祭を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

■　日　　時　：　平成30年6月20日（水）11：00から（約1時間00分）
■　場　　所　：　宮古市川井第3地割76・・・別紙－1（案内図）参照
■　主　　催　：　（施工者）西松建設株式会社 東北支店
■　安全祈願祭の概要
- 神　　事（鍬入れ）
- 発注者挨拶（三陸国道事務所長）
- 来賓祝辞（宮古市長、岩手県沿岸広域振興副局長）

■　事業概要　：　別紙－2
■　そ の 他　：　雨天の場合も実施します。

《 発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会 》

問い合わせ先

【今回の式典や施工内容に関する問い合わせ】
○ 国道106号　川井地区トンネル工事
西松建設株式会社 東北支店　川井トンネル工事事務所
〒028-2302　宮古市川井第1地割60-14
所　　長　　跡部（あとべ）　芳昭（よしあき）　　電話 0193-77-3777

【事業に関する問い合わせ】
○ 国土交通省　東北地方整備局　三陸国道事務所
副 所 長　　舩木（ふなき）　仁（ひとし）　（内線204）　電話 0193-62-1711（代表）
工務第一課　建設監督官　河上（かわかみ）　伸一（しんいち）　（内線504）

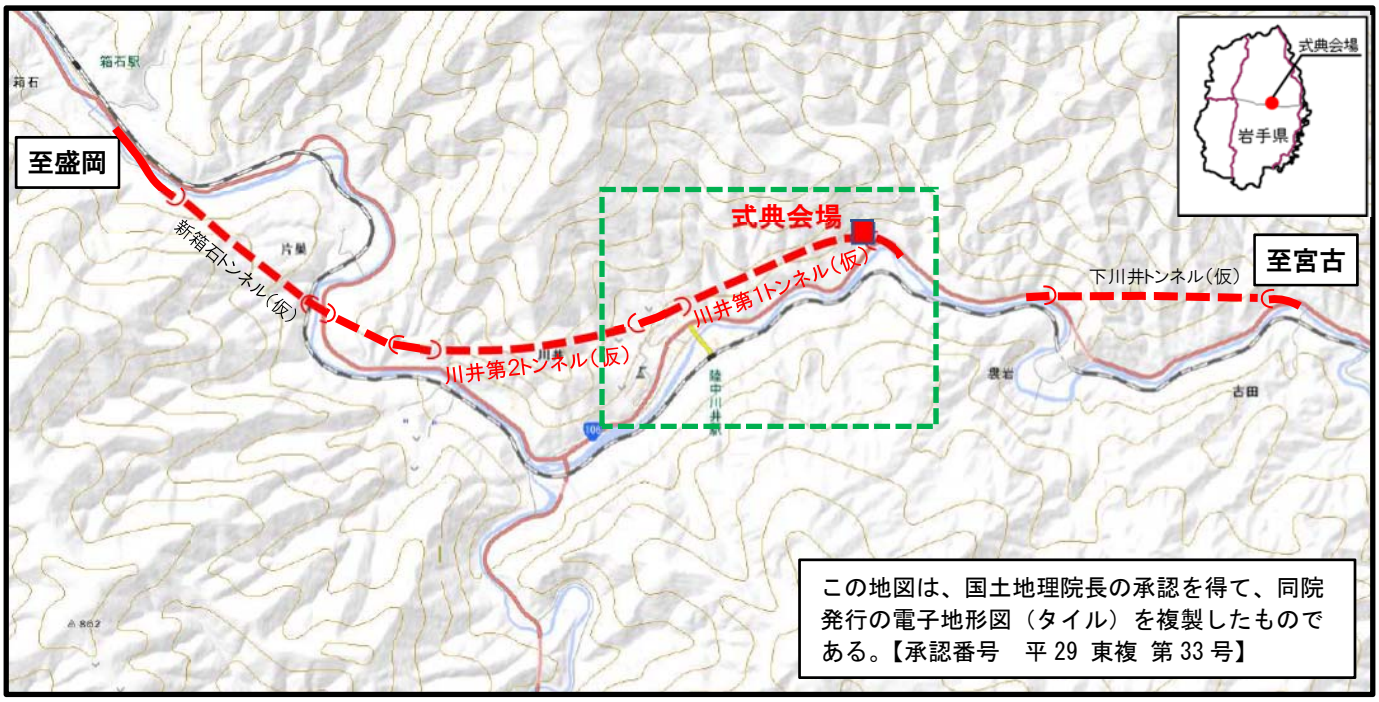
（復興支援道路・宮古盛岡横断道路については、 三陸国道 で検索できます。）

別紙-1

会場案内図

〒028-2302　岩手県宮古市川井第 1 地割 60-14
西松建設株式会社　東北支店
川井トンネル工事事務所
TEL:0193-77-3777　FAX:0193-77-3778

【広域図】　【会場住所】岩手県宮古市川井第 3 地割 76



【詳細図】　【会場住所】岩手県宮古市川井第 3 地割 76

※この看板が目印です



国道106号 川井地区トンネル工事
安全祈願祭会場

別紙－２

宮古箱石道路（宮古～箱石）Ｌ＝３３ｋｍ

路線概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ全長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路(宮古～箱石)」は宮古市藤原から箱石間の約33kmにおいて、岩手県より権限代行で整備する区間です。

国道106号の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により県都盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

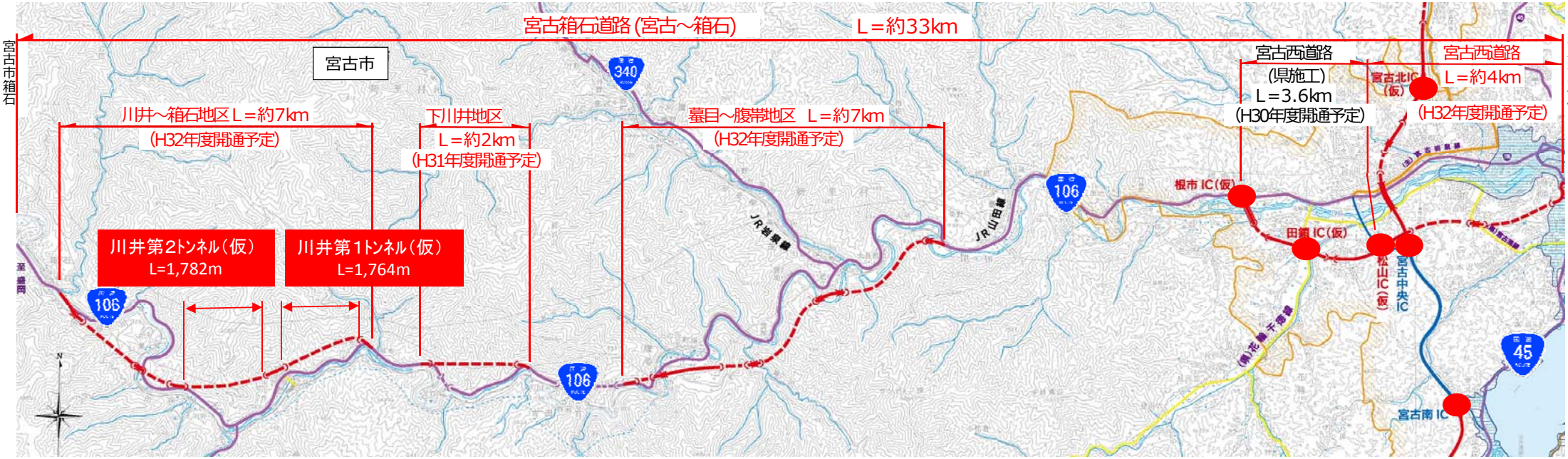
平成30年度は、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を促進し、平成31年度に下川井地区、平成32年度に宮古市藤原～松山IC(仮)、摺目～腹帯地区、川井～箱石地区の開通を目指します。

計画諸元

	宮古箱石道路(宮古～箱石)	
起　点	宮古市藤原	
終　点	宮古市箱石	
延　長	33km	
工　区	(宮古西道路)※国施工分	(摺目～腹帯地区、下川井地区、川井～箱石地区)
幅　員	２車線 13.5m	２車線 12.0m
構造規格	第１種第３級	第３種第２級
設計速度	80km/h	60km/h



久慈方面から松山IC(仮)付近を望む



災害時における緊急輸送路の確保

■東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
■宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路



▼津波により寸断された国道

写真①　宮古市愛宕交差点



写真②　宮古市磯鶏地区

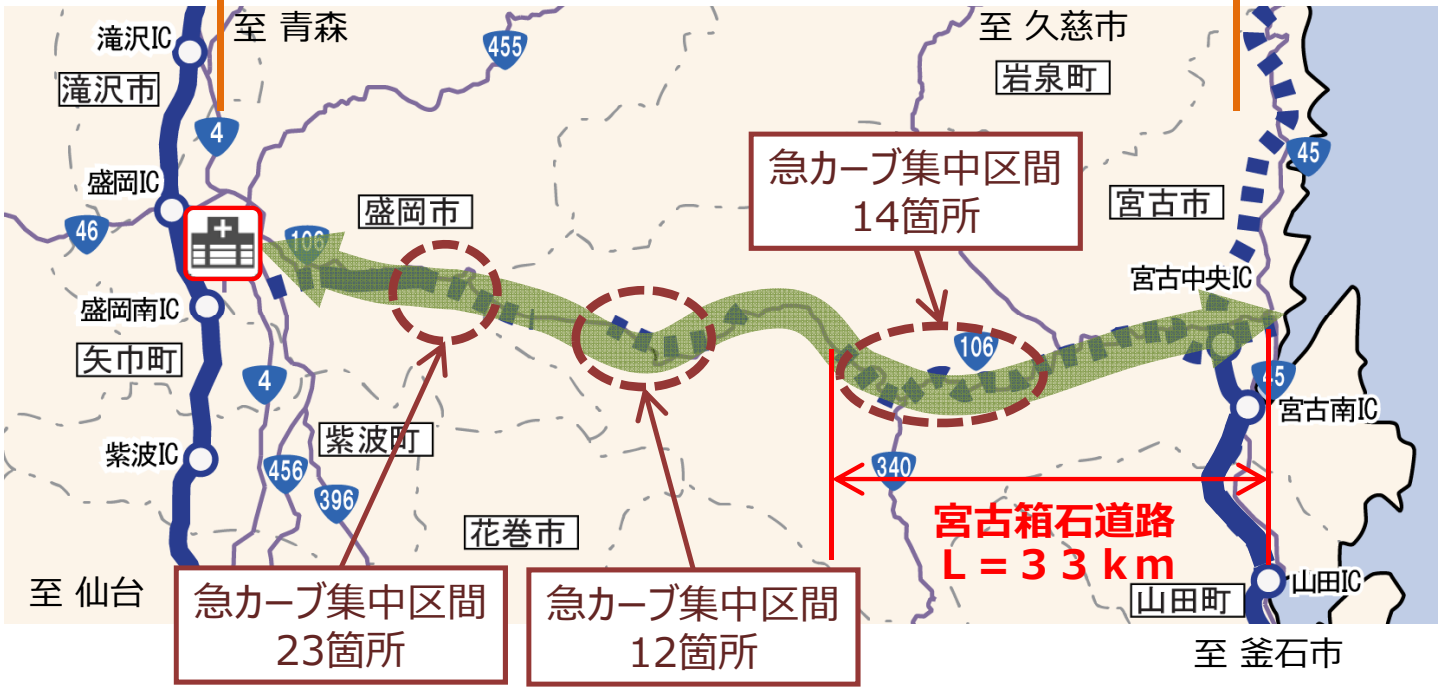


迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

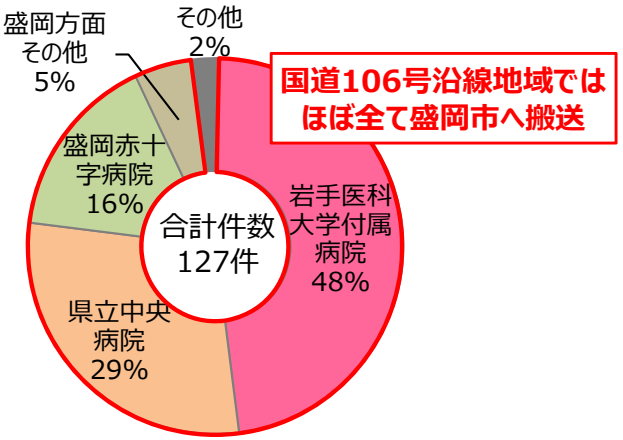
■宮古市内国道106号沿線地域の管外搬送は、全て盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
■宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼国道106号は線形不良個所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去１０年間）
回　　数：　　２２回
合計時間：１１１時間　資料：岩手県（H17-H26）

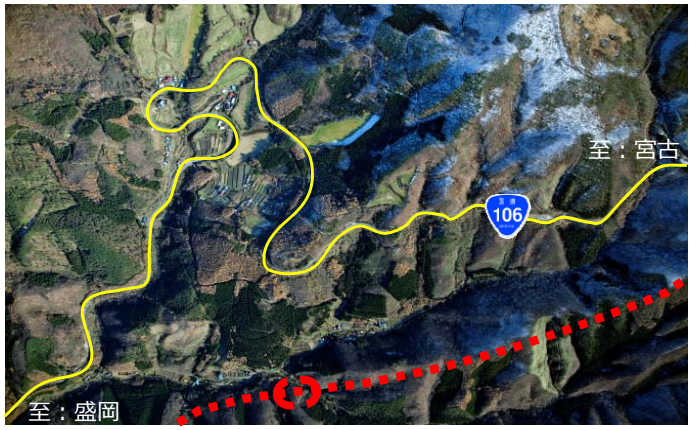


▼宮古市内国道106号沿線地域の宮古地区外への搬送状況（H28）



※国道106号沿線地域
宮古消防署・新里分署・川井分署
資料：宮古地区広域行政組合
消防本部搬送実績

▼　区界地区の急カーブ状況



宮古～箱石区間の国道106号

急カーブ箇所
（R<150m）
14箇所

▷

宮古箱石道路

急カーブ箇所
（R<150m）
0箇所

観光資源へのアクセス向上による周遊型観光の活性化を支援

〇三陸ジオパークや震災遺構などの観光資源が存在し、宮古地方生活圏の入込客数は震災前の約9割まで回復
〇宮古港～室蘭港間で、岩手県初の新たなフェリー定期航路が平成30年6月22日に開設
〇宮古市と室蘭市との交流が始まるなど、三陸沿岸道路等を活用した周遊型観光の活性化を支援

▼三陸沿岸地域に広がる震災遺構・ジオサイト等



2017年のクルーズ船寄港実績

②八戸港 3隻	
ばしふぃっくびいなす	5月21日（日）
飛鳥Ⅱ	5月26日（金）
にっぽん丸	7月11日（火）

③宮古港 3隻	
ばしふぃっくびいなす	6月21日（水） 9月21日（木）
にっぽん丸	6月24日（土）

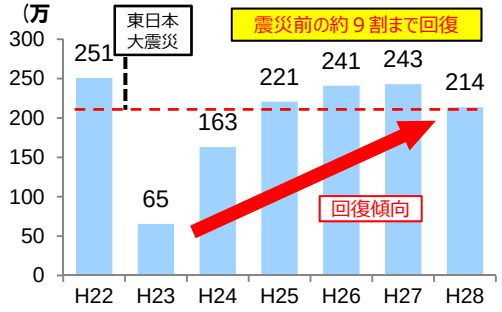
④大船渡港 4隻	
ばしふぃっくびいなす	4月25日（火） 5月22日（月）
にっぽん丸	5月5日（金）
飛鳥Ⅱ	9月26日（火）

※ 震災遺構は保存が決定しているもの（H27.3 時点）

▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



▼観光入込客数の推移（宮古地方生活圏）



資料：岩手県観光統計
宮古地方生活圏：宮古市、田野畑村、岩泉町、山田町

【三陸ジオパーク】



▲浄土ヶ浜（宮古市）
出典：三陸ジオパークオフィシャルwebサイト
いわて三陸観光復興プラットホームHP

【震災遺構】



▲奇跡の一本松（陸前高田市）

【宮古市と室蘭市との交流連携】



▲航路周知活動（宮古市）
セミナーやフェリーフェスティバルでのパネル展示を通じ、フェリー航路の新たな可能性や展望、両地域の魅力を情報発信



▲市民交流活動（室蘭市）
航路開設にあたり、両地域の在り方を検討するため、宮古市職員を室蘭市に招いて、ワークショップを開催



▲観光物産PR（宮古市）
宮古市産業まつり　室蘭市の物産販売



▲観光物産PR（室蘭市）
むろらん港まつり　宮古市の物産販売

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

■三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
■三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



石割桜
（盛岡市入込客数
：370万人/年）



小岩井農場
（まきば園）
（雫石町入込客数
：188万人/年）



八幡平
（八幡平市入込客数
：178万人/年）

世界遺産 平泉
（平泉町入込客数195万人/年）







三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



（宮古市入込客数：122万人/年）

船越半島大釜崎（山田町）



（山田町入込客数：23万人/年）

碁石海岸（大船渡市）



（大船渡市入込客数：100万人/年）

三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



（久慈市入込客数：79万人/年）

北山崎(田野畑村)



（田野畑村入込客数：55万人/年）

龍泉洞（岩泉町）



（岩泉町入込客数：43万人/年）

※資料：岩手県観光統計（平成27年、28年）